

## 維新前後の安部氏

1867年（慶応3年）王政復古の号令

1868年（慶応4年＝明治元年）

- 1月 3日 鳥羽伏見の戦い
- 2月16日 勤王の証書，帰順を請う（信発，新政府軍に従う）
- 3月11日 岡部陣屋へ岩倉より官軍の兵食の加勢を命じられる
- 3月29日 三河半原へ移転出願（不都合の理由）  
幕府側の兵との衝突を避けるため，体よく逃げ出す？
- 4月 3日 信発，藩の半原への移転を実行。半原藩の成立
- 4月 4日 東海道川崎関門の守備を命じられる  
鈴木伝を隊長，兵85人を出す。
- 4月15日 徳川慶喜 江戸城を開城する  
彰義隊討伐 会津の乱平定

### <半原への移転>

藩主の安部信発も半原へ移ったが住む家がなく，代官の役宅を仮宅にあて，士族たちは民家を借りて仮の住まいとする有様だった。

半原へは200人あまりが移った。士族の屋敷が急に100軒近く増え，一時はにぎやかだった。

#### <半原藩>

- ・所領 2万2千石
- ・人口 1万5680人
- ・領主 1軒 3人
- ・士族 170軒 578人
- ・卒 74軒 155人

#### <半原に移転した者>

- ・領主外士分 85軒
- ・士分以下 11軒
- ・卒 15軒

その他は東京，岡部，摂津に分居

明治2年に藩士が士族と卒に分けられた

半原で，役所，住宅の造営の設計をしたが，できないうちに廃藩となった。廃藩置県後の武士の多くは失業状態となった。

1869年（明治2年）6月23日 安部信発 半原藩知事に任じられる。

1871年（明治4年）7月15日 廃藩置県 半原藩知事の免官

当面，所領はそのままで半原県と名づけられた

11月15日 岡崎に額田県を置く

三河8郡と知多郡が管轄となる

<以上の参考文献> 八名郡誌，新城市誌，安部家譜，愛知県史  
(文責：八名郷土会)